



迎春のご挨拶 専務取締役パイプ事業部長 村口 和夫

新年明けましておめでとうございます。
2006年の当初にあたりパイプニュースの紙面を借りまして皆様迎春のご挨拶をさせていただきます。
皆様方に置かれましては夫々恙無く旧年を過ごされ、あらたな気持ちで新年を迎えられることと存じます。

パイプ事業も昨年は「激動の年」であったと言えます。継続する公共事業予算の縮小・削減の影響を避けられず、ここ数年来予算未達状態が継続しておりました。その事業内容の改善を図るために2005年度を初年度とする3ヵ年の中期計画を策定し、事業部組織も大幅に改編し中計目標の達成に励んでまいりました。

しかしながら厳しい事業環境は依然として継続しており、好調な民間企業の設備投資関連案件の受注に助けられたものの、全体としては受注に関して略原予算達成の見込みであるが、売上に関しては困難な状況となっております。

このような状況の中ではありますが、中計に織り込んだ重点課題として、1.新規市場の開拓、2.製造原価の削減、3.工事原価の削減については夫々関連部署にて鋭意努力しております。第1項に関しては、一般工業用途向け民需市場の開拓に心がけておりますが、今回親会社の設備投資関連案件の受注を契機にして更なる拡大を目指しております。第2項に関しては、大分工場における安価な材料調達努力、過剰在庫の削減等に努めております。第3項に関しては、工事費積算ベースの標準化、クレーム工事費の削減等で実績を挙げつつあります。

さらに拡販対策として、既設配管更新更生市場ニーズを満たす新技術・工法の開発の導入対象技術の評価中であり、当該技術の既保有会社と具体的な共同開発協議を始めようとしております。新規市場開発対象としては従来に無い管用途に注目して重点的に取り組もうとしております。

当事業部の製品であるポリエチレンパイプは、未来の社会インフラの数多くのニーズを十分満たし得る特徴を数多く備えていることから、事業部全員の努力を結集することにより、逆風を跳ね返すことができるという信念を持ち、新たな年に向かって出発しようではありませんか。

又、当事業部のお客様、あるいはお取引先の皆様方におかれましては、より一層のご支援をお願い致します。又、もう一つ誓いを新たにして新年に望まなければならないことがあります。それは製造・工事に関する「安全の確保」ということです。事業経営における安全の確保は当然のことですが、それを管理徹底するシステムが全社的には未整備です。そのため現在私たちは2006年度中にOHSAS18001という事業部全体の安全管理システムの公的認証を取得しよう準備を進めております。

「完全の確保」を確実にするために最も重要なことは、各個人がいかに安全向上意識をもって、全体としての安全確保の一環となっていくというシステムへの強い参加意識がなければなりません。そのような事項を勘案して、2006年は事業部員全員の意識改革の年と位置づけたいと切に思っております。

皆様方におかれましてはパイプ事業部を本年もどうか宜しくお願いいたします。

既設水路へ配管



本案件では下記3点が主な採用理由でした。

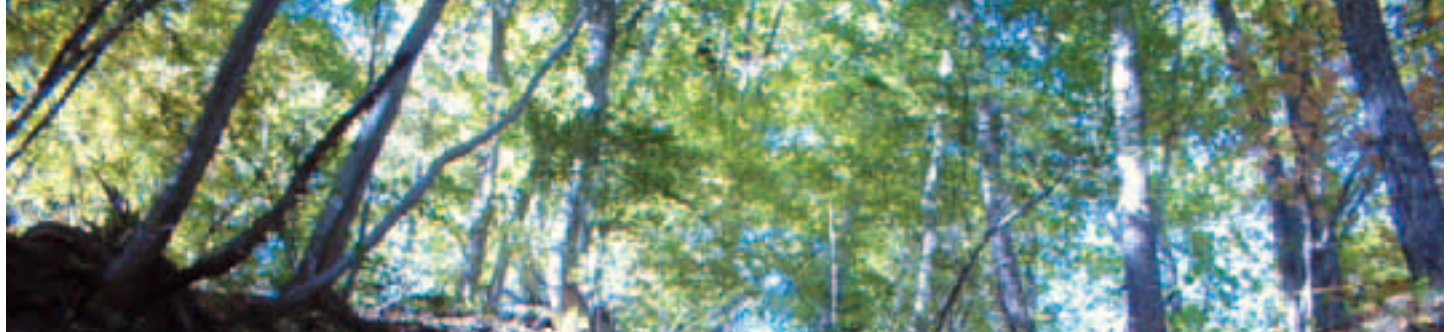
- ◆既設水路の撤去費が不要となる
- ◆管の可とう性を活かし、地形に合わせた配管ができる。
- ◆工期が短縮できる。

品種:WE-26 呼び径:W200S×820

温泉

現在本格的な少子高齢化時代を迎え、温泉に対する人々の志向は、健康、本物、安全、癒しを重視する方向へと進む中、弊社の温泉パイプGNGもより多くのニーズにお応えできるよう性能の向上に取り組んでおります。

写真は山岳地帯での露出配管事例ですが、露出でも特別な養生が不要。優れた可とう性。ライン中にフランジ継手が不要。長尺納入が可能。温泉の温度を一定に保つといったGNGパイプの特長に加えて、今回は2MPa{20.4kgf/cm²}の使用圧力もクリアしております。(2MPa仕様は現状では案件毎の対応となります。)



品種:GNG20K 呼び径:75/176 長さ:1,121m



第45回 温泉経営管理研修会

従来の温泉科学の基礎情報の普及に加えて、5月24日から施行された温泉法施行規則の改正に伴う新しい温泉成分の揭示や表示についての理解、温泉を核とした「健康・安心・癒し」の場の展開を特別テーマに掲げて、11月9日から3日間、都内の野口英世記念館において“第45回温泉経営管理研修会”が開催されました。

弊社も温泉パイプの主力であるGNGのカットサンプル、EFソケットなどを出品し、パイプの特長や採用事例を紹介しました。

来場者からは、泉質や温度低下に与える影響といった温泉パイプ本来の機能以外にも、耐震性や施工性、寿命といった配管システム全体に関する質問も寄せられました。



農業用高密度ポリエチレン管

「やすらぎ」と「癒し」を生み出す高密度ポリエチレン管

高密度ポリエチレン管は、安定した品質で長期間安心してお使いいただけることから、農業経営における「やすらぎ」と「癒し」の創出に貢献します。

高密度ポリエチレン管

- 燃やしても有害物質が発生せずリサイクルも容易で環境にやさしい素材です。
- 現在の樹脂（PE100）は、長期信頼性が高く50年の期待寿命を有します。
- 優れた流量特性を示します。さびなどの腐食の心配も無く長期間流量特性が変わりません。

継手の特長

- ポリエチレンの融着特性を生かした"バット融着継手"で管と一体化されたパイプラインを実現します。
- 油圧で制御される専用の大型バット融着機を使用して非常に信頼性の高い安定した継手加工が実現できます。

施工上のメリット

- パイプの可とう性や管路維持力により、曲がりや斜面に沿った配管が可能です。可とう管やスラストアンカーブロックといった特別な維持手段を削減できます。
- 管や継手の軽量化、専用のバット融着機での計画的かつ効率的な継手加工などにより、工期の短縮を図れます。



品種:WE21 呼び径:900mm



品種:WE21 呼び径:900mm



品種:WE21 呼び径:500mm



品種:WE21 呼び径:500mm

維持管理費削減の実現への貢献例（水管橋の場合）

現 状

水管橋は主に鋼管が使用されておりますが、腐食防止のために10～15年おきに表面の再塗装が必要です。

高密度ポリエチレン管

高密度ポリエチレン管は耐食性に優れており、材料処方で屋外での使用に耐えられる耐候性も有しております。

管の経年劣化が少ないため、特別な維持管理費は必要ありません。

また、非常に粘り強い材料特性も有しており、凍結により管内水の体積が増加しても管が破裂することはありません。

以上より、高密度ポリエチレン管は、水管橋用管材として管路の維持管理費の削減に大きく貢献します。



品種:WE21 呼び径:500mm 長さ:41m



品種:WE21 呼び径:400mm 長さ:110m



品種:GNGW15 呼び径:150/272 長さ:180m



品種:WE21 呼び径:400mm 長さ:110m